

11 GPAについて

1. GPA制度とは

GPA (Grade Point Average) とは、各科目の成績評価に一定のGP (Grade Point) を与えて数値化し、その累積に対する平均値を示すものである。

2. 成績評価とGP

可否区分	評語	評点	G P	成績証明書の表示	
				和文	英文
合格	S	100 ~ 90	4.00	秀	S
	A	89 ~ 80	3.00	優	A
	B	79 ~ 70	2.00	良	B
	C	69 ~ 60	1.00	可	C
不合格	F	59 ~ 0	0.00	非表示	非表示
履修取消	W	—	—	非表示	非表示
認定	T	—	—	認	T

3. GPAの算出方法

GPAの計算式は、次に定めるものとし、算出された数値の小数点以下第4位を四捨五入して、第3位までの数値とする。

■ GPA算出式

$$\frac{\text{全期間の}(4 \times \text{S(秀)の評価単位数} + 3 \times \text{A(優)の評価単位数} + 2 \times \text{B(良)の評価単位数} + 1 \times \text{C(可)の評価単位数})}{\text{全期間の総履修登録単位数 (「F(不可)」の単位数を含む。「W(取消)」「T(認)」の単位数は含まない。)}$$

※GPAは、在籍期間中の全ての成績を通算して当該学期毎に算出する。

4. GPAが適用される科目について

原則として本学学則に定める授業科目とする。ただし、次の(1)～(5)に定める科目と(6)の条件については、GPA算出対象から除くものとする。

(1) 本学以外の大学等で修得した科目を単位として認めたもの ア 編入学した際の単位認定科目 イ 留学や資格取得による単位認定科目 ウ 他大学との単位互換制度で修得した科目
(2) 博物館に関する科目及び教職に関する科目
(3) 履修取消制度により取消した科目
(4) 各学部学科等の規定に基づく「随意科目」(履修は可能だが修得しても卒業必要単位数に算入されない科目)
(5) 各学部学科等が別途定めた「GPA算出除外科目※1」
(6) 理学部に所属する学生の必修専門科目について、1科目に複数の「F」評価がついた場合の当該科目の1個の「F」を除いた残余の「F」の単位数。
前項の(4)にかかわらず、次の条件においては、すべての評価をGPA算出対象とする。 <ul style="list-style-type: none"> • 「重複履修不可科目※2」を再度履修して複数の評価がついた場合 • 「卒業必要単位数に算入できる科目」の内、修得結果により随意科目が確定する場合※3

- ※1 「GPA算出除外科目」とは、各学部学科等の履修規定上は「随意科目ではない科目」(=GPA算出対象になる科目)であっても、各学部学科等の定めによりGPA算出対象外に指定できる科目をいう(G-PortにGPA算出除外科目の情報を掲載する)。なお、これは全対象者に対して一律で適用されるものであり、任意の学生を指定のうえ、特定の科目又は評価を個別にGPA算出対象外に指定するものではない。
- ※2 本学における「重複履修不可」とは、同じ科目を再度履修することを原則禁じていないが、履修した科目の1科目分の修得単位数のみ卒業要件に算入されることをいう。再度履修による修得点は随意科目として集計される取扱いである。
- ※3 各学部学科等の履修規定により、例えば“総合基礎科目は8単位まで卒業単位数に算入することができる”という場合、超過した単位数分が随意科目として集計されるが、どの科目が該当するか判別不可のため、すべての評価がGPA算出対象になる。

5. GPAの記載について

GPAは、学期毎にG-Portの「成績照会画面」及び成績証明書に記載される。